

中山間地域における宿根性切り花の有望品目の選定

星川孝子・阿部清*・土屋光春*

(山形県農業研究研修センター中山間地農業研究部、*山形県最上総合支庁)

Evaluation of Perennial Cut Flowers suitable for Hilly and Mountainous Areas

Takako HOSHIKAWA, Kiyoshi ABE* and Mitsuharu THUCHIYA*

(Department of Hilly and Mountainous Areas Agricultural Studies, Yamagata Agricultural Research and Training Center, *Yamagata Mogami Area Branch General Administration)

1. はじめに

山形県の中山間地域では、転作田などの遊休農地の有効活用が大きな課題となっており、気候条件に適し、省力栽培が可能である程度の収益性が見込める作目の選定が要望されている。

宿根性切り花は、性質が強健で、露地栽培が可能な種類が多いため、中山間地域において有望と考えられ、また、導入のためのコストが低く、省力栽培が可能であるなどの特性を有している。しかし、宿根性花きについての、積雪寒冷地の中山間地域における栽培試験例が少ない。

そこで、中山間地域の露地条件で、越冬が容易で、省力的な栽培が可能な宿根性切り花の品目選定を行なったので報告する。

2. 試験方法

(1) 栽培概要

試験は、山形県農業研究研修センター中山間地農業研究部のほ場で、1999年から2001年までの3年間行なった。供試品目は、表1に示した30品目、38品種のポット苗を用いた。

栽植様式は、うね幅1.5m、条間40cm、株間30cm、2条植えとした。ただし、カンパニュラ・グロメラータは条間20cm、株間20cm、3条植えて試験した。施肥は、1999年は定植前、2000年および2001年は融雪後に行った。施肥量(成分kg/10a)はN:10、P₂O₅:15、K₂O:10とした。試験規模は1区10株、反復なしとした。

(2) 選定基準

露地での越冬率が高く、強健で株の維持が容易で、切り花本数が多く、切り花品質が良好で、降雨による花の痛みがないものを選定した。

3. 試験結果および考察

(1) 越冬後の生存株率

越冬後の生存株率はエリンジウム、エキノプス、ロベリアが低く、夏期の高温と、雪による過湿が主な原因と考えられた。他の品目は越冬率が高く、栽培上問題と

はならなかった(図1)。

(2) 生育および切り花収量、品質

2001年の切り花本数が株当たり10本以上であった品目は、アストランチャ、シオン、ソリダスター、ヒメヒマワリ、ヘレニウム、ペロニカ、ユーパトリウム、リシマキア、ワレモコウ、アガパンサス、アルケミラ、セントランサス、ペンステモン、モナルダ、ヤナギバヒマワリ、ルドベキア、フジバカマの17品目であった。その中で、茎数増加にともない、収穫しやすさ等に問題があり、3年目に改植又は茎数制限が必要な品目は、リシマキア、ユーパトリウム、ヘレニウム、ルドベキア、フジバカマの5品目であった。また、ペンステモン、ヤナギバヒマワリの2品目は切り花品質に問題があった。トロリウス、ソリダゴの2品目は切り花本数がやや少なかったものの切り花品質が良好で有望であった(表2)。

以上の結果から、枯死する株が少なく、切り花品質がよく、3年間の据え置き栽培が可能な品目はセントランサス、アストランチャ、トロリウス、アルケミラ、ペロニカ、シオン、モナルダ、ヒメヒマワリ、ソリダゴ、ソリダスター、アガパンサス、ワレモコウの12品目で、表3に開花期を示した。

4. まとめ

積雪寒冷地の中山間地域において、越冬が容易で省力的に栽培が可能な宿根性切り花の選定を行なった。

その結果、3年間据え置き栽培が可能な宿根性切り花の有望品目は、切り花時期が6月ではセントランサス、アストランチャ、トロリウス、アルケミラおよびペロニカであり、7月の場合は、シオン、モナルダ、ヒメヒマワリ、ソリダゴ、ソリダスターおよびアガパンサスであり、8月以降に有望な品目はワレモコウであった。

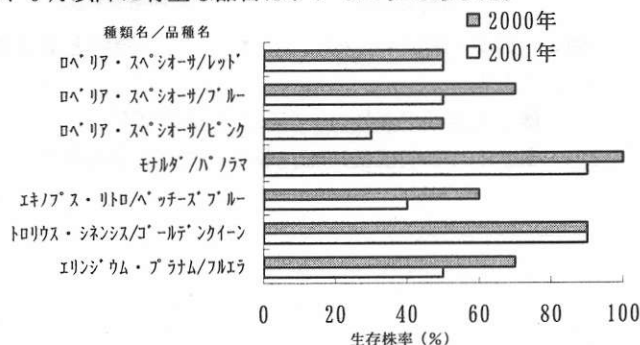


図1 越冬後に枯死株が発生した品目の生存株率
(越冬後萌芽時調査、定植株数に対する割合)

表1 供試品目、品種と定植時期

種類名	品種名	定植時期	種類名	品種名	定植時期
アストランチャ・マヨール		春植え ^z	リシマキア・キリアータ	ファイヤークラッカー	春植え
エキノプス・リトロ	ベッヂーズブルー	春植え	リシマキア・ブンクタータ		春植え
エリシウム・プ・ラナム	フルエラ	春植え	ワレモコウ	在来	春植え
カンパニウ・グ・ロメラータ	カロリーナ	春植え		すい星	春植え
シオン	ブルーレイク	春植え	アカハハス	オリンビックスカイブルー	秋植え ^y
スピードリオン	桃	春植え	アストランチャ・マヨール	ルブラ	秋植え
	白	春植え	アルケミラ・モリス	ロブスタ	秋植え
ソリダスター	ルテウス	春植え	ストクシア	紫	秋植え
トロリウス・シネンシス	ゴールドエンクイーン	春植え	セントレア・マクロセファラ		秋植え
	陽光	春植え	セントランサス	ピンク	秋植え
ヒメヒマワリ	旭	春植え	ソリダゴ	タラ	秋植え
	内田	春植え	ベンスデモン	マジエリーフィッシュ	秋植え
フジバカマ		春植え	モナルダ	パノラマ	秋植え
ヘレニウム	ウォルトラウト	春植え	ヤナギバヒマワリ	ゴールド・ビラミッド	秋植え
	ピンクグロー	春植え	リシマキア・ブンクタータ	斑入り	秋植え
ペロニカ・ロンギフォリア	ホワイトリーゼン	春植え	ルドベキア	カオ	秋植え
	ブルーリーゼン	春植え	ロベリア・スベシオサ	ピンク	秋植え
ユーパトリウム・コレストイナム	ブルー	春植え		ブルー	秋植え
リシマキア・キリアータ		春植え		レッド	秋植え

z 春植え：1999年5月14日定植

y 秋植え：1999年10月14～21日定植

表2 供試した品目の主な特性

種類名	品種名	調査年 ^y 別切花本数 (本/株)			3年目 切花長 (cm)	主な特性	有望性 ^z
		初年目	2年目	3年目			
アストランチャ・マヨール		0.1	11.3	12.0	70	白色の清楚な花、長期開花	○
エキノプス・リトロ	ベッヂーズブルー	0.6	5.2	3.5	89	欠株、葉枯れ症状多い	△
エリシウム・プ・ラナム	フルエラ	0.4	3.3	4.0	75	欠株多い、形質のばらつき大きい	△
カンパニウ・グ・ロメラータ	カロリーナ	0	5.8	5.8	60	薄赤紫色の鐘状花、降雨で花柄が多い	△
シオン	ブルーレイク	0	8.6	10.5	110	薄紫色の花、夏咲き品種	○
スピードリオン	桃	-	5.2	8.0	101	花弁先が褐変	△
	白	-	8.4	9.0	96	花弁先が褐変、桃色より開花遅い	△
ソリダスター	ルテウス	1.8	15.0	16.0	105	黄色の花が鮮やか、茎の曲がり多い	○
トロリウス・シネンシス	ゴールドエンクイーン	0.0	11.0	6.0	75	橙色の花が鮮やか	○
	陽光	2.5	6.8	9.9	100	八重咲き、黄色の花鮮やか	○
ヒメヒマワリ	旭	3.0	13.6	12.0	98	黄色の花鮮やか	○
	内田	2.2	8.0	10.2	106	黄色の花鮮やか	○
フジバカマ		4.5	16.0	15.0	165	地下茎の増殖良好、水上げが不良	△
ヘレニウム	ウォルトラウト	-	12.4	20.3	110	赤橙色の花が鮮やか、枝絡まり収穫困難	×
ペロニカ・ロンギフォリア	ピンクグロー	0	14.2	14.2	55	桃色の穂状花、切花やや細い	△
	ホワイトリーゼン	0	8.8	12.0	60	紫色の穂状花	△
	ブルーリーゼン	0	3.8	10.0	78	白色の穂状花、切花やや長い	○
ユーパトリウム・コレストイナム	ブルー	4.5	25.5	20.0	80	地下茎増殖良好、枝絡まり収穫困難	△
リシマキア・キリアータ		0	25.4	30.0	78	地下茎の増殖良好、落花あり	△
リシマキア・ブンクタータ	ファイヤークラッカー	0	17.4	26.0	130	赤紫の葉、落花あり	△
		0	11.2	25.0	106	黄色の花鮮やか、落花あり	△
ワレモコウ	在来	5.2	12.0	13.0	190	地下茎の増殖良好	○
	すい星	4.1	7.6	8.2	188	在来種より開花が早い、うどん粉病に弱い	△
アカハハス	オリンビックスカイブルー	-	4.4	7.5	53	切花長短く、細い、分けつが増加	○
アストランチャ・マヨール	ルブラ	-	-	5.6	62	赤色花、切花長短く細い	○
アルケミラ・モリス	ロブスタ	-	-	15.0	52	黄緑色花、分けつが増加	○
ストクシア	紫	-	6.8	8.0	45	花茎倒伏しやすい	△
セントレア・マクロセファラ		-	3.2	3.5	80	黄花の大花、葉に褐色斑点あり	△
セントランサス	ピンク	-	13.0	10.2	61	赤色の花、貧弱花多い、長期開花	○
ソリダゴ	タラ	-	3.2	5.5	60	黄色の花鮮やか	○
ベンスデモン	マジエリーフィッシュ	-	32.8	18.0	55	桃色の花、切花長短い、落花	△
モナルダ	パノラマ	-	11.6	10.5	98	赤、桃花等混合、強い芳香あり	○
ヤナギバヒマワリ	ゴールド・ビラミッド	-	16.5	15.0	140	黄色の花が鮮やか、地下茎が増殖、葉先枯	×
リシマキア・ブンクタータ	斑入り	-	-	16.0	70	地下茎が増殖	△
ルドベキア	カオ	-	12.0	12.0	135	黄色（黒点）の花が鮮やか、枝絡まり収穫	△
	ピンク	-	4.2	-	-	欠株多く、切花の品質不揃い	×
ロベリア・スベシオサ	ブルー	-	4.7	3.2	75	欠株多く、切花の品質不揃い	×
	レッド	-	8.2	4.8	68	欠株多く、切花の品質不揃い	×

z 有望性：○切り花として有望、△切り花できるがやや問題がある、×露地栽培切り花として不適

y 調査年：初年目、1999年 2年目、2000年 3年目、2001年

表3 有望品目の定植3年目の開花期

種類名	品種名	6月上旬	6月中旬	6月下旬	7月上旬	7月中旬	7月下旬	8月上旬	8月中旬	8月下旬
セントランサス	ピンク									
アストランチャ・マヨール	ルブラ									
トロリウス・シネンシス	ゴールドエンクイーン									
アルケミラ・モリス	ロブスタ									
アストランチャ・マヨール										
ペロニカ・ロンギフォリア	ピンクグロー等									
シオン	ブルーレイク									
モナルダ	パノラマ									
ヒメヒマワリ	旭									
	陽光									
	内田									
ソリダゴ	タラ									
ソリダスター	ルテウス									
アカハハス	オリンビックスカイブルー									
ワレモコウ	在来									

図中の黒線は開花期を表す